

歌人ダビデ①

シリーズ～詩編～

2015/5/17

ダビデが王に任じられるまで

出エジプト

- パレスチナに住み着く
- 「律法」による主なる神の直接統治（祝福と呪い）

士師時代

- 「イスラエルには王がなく、それぞれ自分の目に正しいとすることを行っていた。」士師21:25

サムエル登場

- 最後の士師であり祭司であった
- 「神の箱」(契約の箱)が奪われる

「王」の誕生

民が王を求める

- サムエルの息子たちが「賄賂を取って裁きを曲げ」ていた サムエル記上8:3
- 「今こそ、ほかのすべての国々のように、我々のために裁きを行う王を立ててください。」8:4

王を立てるとは

- 「彼らの上にわたしが王として君臨することを退けている」8:7
- 「彼らの上に君臨する王の権能を覚えておきなさい」8:9 → 兵役・税金・徴用など

最初の王, サウル

主はサウルを選ばれる

- 「明日の今ごろ、わたしは一人の男をベニヤミンの地からあなたのもとに遣わす。あなたは彼に**油を注ぎ**、わたしの民イスラエルの指導者とせよ。」
- 「サウルが民の真ん中に立つと、民のだれよりも肩から上の分だけ背が高かった。」10:23

サウル, 即位する

- 先頭に立って戦い, アンモン人に勝利する
- 「民は全員でギルガルに向かい、そこでサウルを王として主の御前に立てた」11:15

サウル王の失敗

ペリシテとの戦い

- 劣勢になったので、サムエルが来る前に自分でいけにえを献げてしまった
- 「今となっては、あなたの王権は続かない。主は御心に適う人を求めて、その人を御自分の民の指導者として立てられる。主がお命じになったことをあなたが守らなかったからだ。」13:14

アマレクとの戦い

- すべて滅ぼすように命じられたのに、「上等なものは惜しんで滅ぼし尽く」さなかった。15:9
- 「今日、主はイスラエルの王国をあなたから取り上げ、あなたよりすぐれた隣人にお与えになる」15:28

サウル王の失敗

ペリシテとの戦い

- 劣勢になったので、サムエルが来る前に自分でオメルにえを
献げて、サムエルに「ここにオメルがいます」と告げ、オメルを
オメルにえを

- 「今と
人を
る。主
だ。」

アマレク

- すべ
で滅
- 「今日、
はイスラエルの王国をあなたから取り上げ、あな
たよりよくなった隣人にお与えになる」 15:28

王に求められるのは
神様の言葉に従うこと
つまり「**信仰姿勢**」が
最も重要である！

心に適う
立てられ
たから

は惜しん

次の王を選ぶ

サムエル, 次の王のもとへ

- 「主はサムエルに言われた。『いつまであなたは、サウルのことを嘆くのか。わたしは、イスラエルを治める王位から彼を退けた。角に油を満たして出かけなさい。あなたをベツレヘムのエッサイのもとに遣わそう。わたしはその息子たちの中に、王となるべき者を見いだした。』」16:1

主はエッサイの7人の息子を選ばない

- 「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。**人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。**」16:7

ダビデ,時期王に任じられる

8番目の息子

- 「サムエルはエッサイに尋ねた。『あなたの息子はこれだけですか。』『末の子が残っていますが、今、**羊の番をしています**』」 16:11

サムエル,ダビデに任職の油を注ぐ

- 「彼は血色が良く、目は美しく、姿も立派であった。主は言われた。『立って彼に油を注ぎなさい。これがその人だ。』」 16:12

羊飼いかから王様へ

僕ダビデを選び、
羊のおりから彼を取り
乳を飲ませている羊の後ろから
取つて／御自分の民ヤコブを
御自分の嗣業イスラエルを養う
者とされた。

彼は無垢な心をもつて彼らを養い
英知に満ちた手をもつて導いた。

詩編 78 : 70)

認められなくても

- 息子の数に入っていなかった

重んじられなくても

- 重要な仕事は任されなかった

無垢な心を持っていた

- 美しい「目」をしていた
- 信仰姿勢が評価された